



インドネシアのNGO団体セメスタの研修員が篠崎宇部市長を表敬訪問

## 自治体国際協力促進事業（モデル事業） 環境啓発活動をリードする「環境ヒーロー」の育成研修

（一財）自治体国際化協会(CLAIR)の助成により、インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県のNGO団体“SEMESTA”の青年を宇部市に招き、環境啓発活動を指導実践する中核的人材“環境ヒーロー”を育成する研修を実施しました。はじめに、産官学界が連携して課題解決にあたる「宇部方式」とこれに基づく宇部市の環境保全行政を学び、続いて自治会やボランティアによるごみ分別とリサイクル活動、学校での環境教育と地域での環境学習などを理解しました。また、環境関連施設やリサイクル事業を見学するとともに、持続可能な社会の構築に向けて広範囲な討議を行いました。こうした研修成果を持ち帰り、自国の環境問題を解決するリーダーとして、環境啓発活動を活発に展開しています。



## CLAIRモデル事業「環境ヒーロー」育成研修の概要

- ・実施主体：一般財団法人 自治体国際化協会（CLAIR/クレア）、宇部市、宇部アイカ
- ・実施期間：2023年8月19日(土)～9月3日(日) 16日間
- ・研修員：インドネシアのNGO団体セメスタ職員 6名
- ・研修先：宇部市環境保全センター、山口県環境保全事業団東見初広域最終処分場、新町資源ごみ拠点回収施設、鶉の島ふれあいセンター、(有)光田商店、(株)アースクリエイティブ、(株)広島企業、ときわ公園、さらら浜自然観察公園
- ・講師：宇部市、山口大学名誉教授、山口大学大学院教授、宇部観光コンベンション協会、宇部市環境衛生連合会、うべ環境コミュニティ、宇部市地球温暖化対策ネットワーク、宇部市環境まちづくりサポーター、宇部市小学校元教員
- ・国際交流：週末は3班に分かれ、国際交流ボランティアのご案内により山口県内各地を見学体験しました。
- ・帰国後のフォローアップ：現地の活動進捗報告会を2024年3月12日オンラインで実施しました。高校で生ごみコンポストの実地指導、小学校教員へ環境教育の指導などが進められていました。



### セメスタの紹介 <https://semesta.org/>

- ・ビジョン：最高かつ進歩的な青年能力開発プラットフォームを目指す
- ・ミッション：青少年の能力向上、ネットワーク拡大、社会貢献

セメスタ(SEMESTA)の正式名称はインドネシア語で“Sentral Muda Bestari”です。「若い専門家ヒーロー」を意味しており、若者の能力開発に焦点を当てた活動を進める非営利団体として、2020年7月にインドネシアの西部スマトラ島に位置するリアウ州ブンカリス県で設立されました。若者が未来の黄金世代となることを目指して、さまざまな若者の能力強化活動を行っています。セメスタのロゴは頭文字SMBと上部の若者をシンボルとして、赤色は前進する精神を、黄色は喜びと幸福を、緑色は環境への配慮を表しています。蝶のように、競争よりも協力することが重要との信念を持ち、自然との調和を保つための恩恵と善意の大切さを広めたいと考えています。



### 研修風景



新町資源ごみ拠点回収施設



固形燃料(RPF)工場  
(有)光田商店 (山口市)



(株)アース  
クリエイティブ  
食品廃棄物  
飼料化工場  
視察の記事  
出典：宇部日報



ファイナルレポート発表会

## JICA青年研修 インドネシア：環境管理コース

インドネシアの各地から選ばれた同国の将来の国づくりを担う青年行政官12名が参加し、2020年から途絶えていた環境管理コースの対面での研修を実施しました。始めに宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により解決した歴史を学び、続いて、宇部市の環境政策、環境保全対策、廃棄物管理、SDGsの取り組み、宇部市の段ボールコンポストの説明を受け、理解を深めました。次に、宇部市内の企業による食品廃棄物の飼料化プロセス、プラスチックリサイクル工場を視察し、さらに、環境保全活動における行政と市民の連携や、市民による環境への取り組みを、講師や市民との質疑を通じて学び、幅広い環境保全対策と環境に携わる人づくりを理解しました。

また、週末は広島市を訪れ、平和記念公園と平和記念資料館で平和学習を、宮島の世界文化遺産「厳島神社」で自然環境保護について学びました。

- 実施主体：JICA 中国センター、宇部環境国際協力協会、宇部市
- 実施期間：2023年10月15日(月)～27日(木) 13日間
- 研修員：インドネシア各地の青年行政官12名
- 研修先：宇部市環境保全センター、東見初広域最終処分場、新町資源ごみ拠点回収施設、鶴の島ふれあいセンター、宇部市水道局広瀬浄水場、ときわ公園、(株)アースクリエイティブ、(株)広島企業、UBE三菱セメント(株)、UBE i-Plaza、福岡県みやま市バイオマスセンター、トータルケアシステム(株) (大牟田市)、北九州市エコタウンセンター、(株)KARS (北九州市)、たかみや環境ミュージアム (北九州市)、広島平和記念公園・平和記念資料館、厳島神社
- 講師：宇部市、山口大学名誉教授、山口大学大学院教授、宇部フロンティア大学短期大学部教授、宇部地区環境保全協議会、宇部観光コンベンション協会、宇部市環境衛生連合会、宇部市地球温暖化対策ネットワーク、宇部市環境まちづくりサポーター、宇部市小学校元教員



独立行政法人  
国際協力機構

### 研修風景



篠崎市長表敬訪問



宇部市広瀬浄水場



福岡県みやま市バイオマスセンター



厳島神社

## 環境ウェビナーを開催 インドネシア・マカッサル市 食品薬品監督局の職員を対象

インドネシアのスラウェシ島南西部マカッサル市の食品薬品監督局の職員を対象に環境ウェビナーを開催しました。2015年度JICA青年研修の研修員として宇部市で環境管理研修を受講した行政職員の依頼を受け、宇部市の廃棄物行政の取り組みと一般家庭ごみの分別・収集・処理・再利用の現状、および危険ごみや医療廃棄物の処理について紹介しました。現地では多数の行政職員を含む住民の参加があり、多くの質問がある中で、盛況に開催することができました。

- ・日時：2024年 3月4日(月) 11:00～13:00 Zoomを用いたウェビナー形式
- ・協力：宇部市
- ・参加者：インドネシア110人、宇部市5人、宇部アイカ2人
- ・講演紹介 1：「宇部市の環境への取り組み」大村浩誌氏（宇部市環境政策課）
- ・講演紹介 2：「宇部市の廃棄物管理」川口修平氏（宇部市廃棄物対策課）
- ・質疑内容：「ごみ出しルールの周知・順守の方法は？」「ごみ出しルール違反者への罰則は？」  
「住民にごみ減量を動機付ける方法は？」「段ボールコンポストの普及度合は？」…など

ウェビナー参加者



現地で配布されたチラシ



宇部市の取り組み事例を紹介



質疑の中の宇部市職員

## 環境国際セミナー：講演「海洋プラスチック問題の現状と対応」

プラスチックは私たちの生活を便利で豊かにしていますが、海洋に流出すると地球規模で広がり、国際的にも様々な環境問題をもたらしています。本セミナーでは、プラスチックの基本的な知識及び、プラスチックごみ、特に海洋プラスチックの環境への影響を整理するとともに、国内外における対応についてのご講演をいただきました。

演 題：海洋プラスチック問題の現状と対応

講 師：山口大学大学院創成科学研究科教授  
樋口隆哉 先生

日 時：2023年6月22日（木）15:00～16:30

会 場：宇部市文化会館 第一研修室

参加者：40名

後 援：宇部市



## 環境保全技術講座：「バイオマス都市さが」環境バスツアー

佐賀市は2014年にバイオマス産業都市構想を策定し、環境の保全と経済的な発展が両立するまち「バイオマス産業都市さが」の実現を目指しています。佐賀市を目指す持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくりとして、ごみ焼却場排出ガスから分離回収した二酸化炭素の利用や、汚泥消化ガスによる発電及び汚泥の堆肥化などが実施されています。これらの新しい技術を取り込んだ環境施設を見学し、佐賀市のバイオマス事業の取り組みを勉強しました。

また、国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録された有明海湾奥部に広がる干潟を体感する施設「東よか干潟ビジターセンターひがさす」を訪問し、干潟の多様な生き物や飛来する野鳥たちに接して、干潟の魅力と自然環境の保全について学びました。

- 見学先：①佐賀市下水浄化センター；消化ガス発電設備、超高温発酵菌による汚泥堆肥化設備  
②東よか干潟ビジターセンターひがさす；ひがたのシアター映像、ひがたのパノラマ展望台  
③佐賀市エコプラザ・清掃工場；焼却工場、CO<sub>2</sub>分離回収設備、CO<sub>2</sub>供給先施設を展望

日 時：2024年3月15日（金）7:30～19:30

参加者：16名

共 催：NPO法人うべ環境コミュニティー

後 援：宇部市



佐賀市下水浄化センター  
消化ガス発電設備



スグロカモメ  
於 東よか干潟



佐賀市清掃工場

## 新規環境技術研修コースの企画・提案、 研修プログラムの策定

### 1) 自治体国際化協会(CLAIR)が「離島における持続的環境啓発事業」を採択

インドネシア共和国パプア州スピオリ県と当協会が協力し、離島における廃棄物問題の解決という視点で、地方行政と住民の協働による環境改善の取り組みを実施します。現地の行政職員の中から選抜された研修員を宇部市に招聘し、環境啓発活動の中核人材として育成する事業を企画しました。これをCLAIRモデル事業として申請したところ、令和6年度案件として採択されました。当協会は7月以降の2週間に4名の研修員を受入れ、宇部市、山口大学、県内企業、市民ボランティアの方々など、皆様のご協力を得て環境研修を実施します。



### 2) インドネシア共和国ブンカリス県から宇部市へ広域協力要請

インドネシア共和国リアウ州ブンカリス県と宇部市は環境分野での交流を長年続けてきましたが、コロナの影響で中断していました。このほど、ブンカリス県から宇部市に対して、環境分野に限らず広範囲な相互協力の要望があり、今後の対応を協議しています。環境分野については宇部市と当協会が現地と協議し、深刻なごみ問題の解決に向けた支援事業を企画していきます。



### 3) UiTMとMOUを締結、固形廃棄物管理に関する技術協力を継続

昨年MOUを締結したUiTM(マレーシア・マラ工科大学)から固体廃棄物に関する共同研究について問い合わせがありました。



### 4) ラオス人民民主共和国との環境交流・支援

ラオス南部サラワン県サラワン市地区の知事(JICA元青年研修員)に対し、宇部市での環境研修の実施希望を打診したところ、非常に前向きな回答を得ました。担当者の紹介を待って、CLAIRモデル事業を念頭に、今後の協議を進めます。



### 5) 山口県国際協力協会へ令和6年度国際活動助成金を申請

山口県国際交流協会は多文化共生、国際理解・交流・協力に関する事業を行う県内の民間国際活動団体に対して助成しています。当協会は「宇部市に在住の外国人留学生・職員と宇部市民との市内企業環境施設見学会」を半日事業として企画し申請しました。



### 6) JICA青年研修 スリランカ・モルディブ環境管理コースの応募準備

JICA中国2024年度青年研修(スリランカ・モルディブ:環境管理コース)の企画競争が、23年度末の3月に公示され、企画書と見積書の準備を進めました。スリランカはプラスチック廃棄物管理が、モルディブは気候変動・防災が支援のニーズとして背景にあります。





## 環境に関わる会議の出席、webセミナーの受講

- 4月07日 : webセミナー WWFジャパン生物多様性スクール2023 第2回「生物多様性と海」
- 5月19日 : ESDうべ推進協議会 幹事会
- 5月20日 : ESDうべ推進協議会 総会
- 6月02日 : webセミナー WWFジャパン生物多様性スクール2023 第3回「生物多様性と防災・減災」
- 6月10日 : 宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA) 総会
- 6月14日 : webセミナー ヤフー「ChatGPTの活用と社員の生産性を向上させる企業のリスクマネジメント」
- 6月21日 : webセミナー WWFジャパン生物多様性スクール2023 第4回「生物多様性と金融」
- 6月29日 : webセミナー CLAIR多文化共生課「オンライン対応能力向上研修会」
- 7月26日 : 宇部市環境審議会 第1回
- 7月31日 : webセミナー WWFジャパン生物多様性スクール2023 第5回「生物多様性と農業」
- 7月31日 : 宇部コンビナート省エネ・温室効果ガス削減研究協議会 総会&講演会
- 8月02日 : webセミナー 宇部市環境教育指導者研修会「プロジェクト型の学び ～行動者を育成するESDの実現のために～」
- 8月08日 : webセミナー JICA&北九州市「高倉式コンポストとJICAの国際協力～スラバヤから始まった高倉式コンポストの歩み」
- 8月31日 : webセミナー ウォーターフロントアクティビティプロジェクト「海と物理～海洋ごみはどこから来てどこに向かう?!」
- 9月07日 : webセミナー CLAIR市民国際プラザ 国際協力推進セミナー「世界とつながる」地方自治体～行政x NGO/NPO等の協働による国際協力の可能性～」
- 9月09日 : webセミナー WWFジャパン「田んぼの生き物を知ろう！日本の水田と生物多様性のお話」
- 11月01日 : webセミナー うべ環境コミュニティー「私の考えるSDGs」
- 11月20日 : 宇部コンビナート省エネ・温室効果ガス削減研究協議会 令和5年度研修会
- 12月06日 : webセミナー 三井化学ほか「世界におけるプラスチック規制の動向」
- 12月20日 : 宇部市環境審議会 第1回 研修会
- 1月10日 : webセミナー Circular Economy.Tokyo「サーキュラーエコノミー基礎知識」
- 1月16日 : webセミナー WWFジャパン気候エネルギースクール「気候変動に関する国連会議COP28」報告
- 1月26日 : webセミナー CLAIR「中小自治体の戦略策定～SDGsとまちづくり～」
- 1月31日 : 宇部市環境審議会 第2回
- 2月10日 : webセミナー 山口県環境政策課「気候変動を学ぶセットアップセミナー」
- 2月16日 : webセミナー やまぐち県民活動支援センター「ボランティアについて～ボランティアと団体のいい関係～」
- 2月22日 : webセミナー JICA緒方貞子平和開発研究所プロジェクトヒストリー「苦難を乗り越えて、国づくり・人づくり～東ティモール大学工学部の挑戦～」出版記念セミナー
- 2月29日 : webセミナー Circular Economy.Tokyo「サーキュラーエコノミー最新事情」
- 3月05日 : webセミナー JICA緒方貞子平和開発研究所国際シンポジウム「グローバルサウスがもたらす新たなダイナミクスを探る～開発途上国は中国にどうむきあっているのか？」
- 3月09日 : webセミナー ESDうべ推進協議会 第3回 研修会「生成AI とともに生きる高度情報化社会」
- 3月13日 : 宇部市環境審議会 第2回 研修会
- 3月14日 : webセミナー 環境省中国四国地方環境事務所「瀬戸内海・日本海の海の変化とこれからの地域産業について」
- 3月22日 : webセミナー 三井化学「三井化学フォーラム2024～リジェネラティブな未来」

注) WWF:世界自然保護基金、JST:科学技術振興機構



CLAIRモデル事業研修  
セメスタ職員がデザインしたロゴ入り  
Tシャツをお揃いで



JICA青年研修 閉講式

## 広報活動

- (1) 2023年11月20日（月）宇部コンビナート省エネ・温室効果ガス削減研究協会  
令和5年度研修会（主催：宇部市）において、宇部アイカの取り組みについて講演しました。
- (2) 2023年12月17日（日）「まるごとCOOL CHOICE in Library」（主催：宇部市、  
会場：宇部市立図書館）において、宇部アイカの取り組みをパネル展示で紹介しました。

## 理事会 及び 総会

- (1) 理事会：2023年5月26日（金）  
宇部市文化会館にて開催した理事会において、前年度事業報告、新年度事業計画などを審議し、承認されました。
- (2) 総会：2023年6月22日（木）  
宇部市文化会館にて開催した総会において、前年度事業報告、新年度事業計画などを審議し、承認されました。



## ボランティアのお願い

国際交流のボランティアを募集しています。  
皆様方の実情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

### ＜国際交流ボランティア＞

今後も海外から多数の研修生が宇部市を訪れます。  
外国語（英語、スペイン語、中国語等）の会話が可能な方に、休日のホームステイ、宇部市内外の案内等をお願いします。



## 会/員/募/集

- ＼会員になって一緒に国際交流活動をしてみませんか！  
宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されています。  
宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところから始まります。お知り合いの方々へ お願いをお願いします。
- ・会員数 ●個人：100人 ☆法人：34団体
  - ・年会費 ●個人：1口 1,000円 ☆法人：1口 10,000円
  - ・入会金 無料

発行

宇部IECA

宇部環境国際協力協会

UBE IECA

Ube International Environmental Cooperative Association

〒755-0045 山口県宇部市中央町2丁目11番21号

宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」 3F

TEL&FAX: 0836-36-3199

E-mail: info@ieca.biz

https://www.ieca.biz